



第35号 (令和7年11月)

子育てコンシェルジュだより

富士宮市子育てコンシェルジュ (富士宮市立児童館内)

☎0544-21-3715

こんにちは、子育てコンシェルジュです。

皆さんは、「ヒヤッ!」「ハッ!」とした経験ありますか?一歩間違えると重大な事故になったかもしれない事を**ヒヤリハット**といいます。こどもは思いもよらないことをしたり、昨日まで出来なかったことが今日はできたりと成長を嬉しく思う反面子育て中は危険がいっぱいです。もしもの時の対応方法などを紹介しますが、大事に至らないように予防を心がけていきましょう。



誤飲・窒息

こどもの口はピンポン玉くらいの物が入ります。直径39mm(約4cm)はトイレペーパーの芯の直径とほぼ同じより小さいもの、手に触れたもの、上の子が持たせたものなど危険がいっぱいです。

★ヒヤリハット!!

- ・いつの間にかボタンなどの小さなものを口にしていた。
- ・上の子が赤ちゃんの口や鼻にシールを貼っていた。
- ・布団やクッションに顔が埋もれていた。
- ・自分で持っていた哺乳瓶を口から離さずにむせた。
- ・ミニトマトや飴を喉に詰まらせた。
- ・食べ物を口いっぱいにはおぼせて走り、咳き込んだ。

対策ポイント

- ・静かに遊んでも目を離さない。
- ・やわらかいクッション、布、ひも状の物を近くに置かない。
- ・授乳後は必ずゲップをさせてから寝かす。(寝具は固め)
- ・食事は月齢、年齢に合った大きさにする。
- ・口に食べ物が入っている状態でふざけたり、走ったりし

応急処置のポイント

【気道異物の除去方法】



・応急処置のあと病院へ

挟む・切る

抱っこやおんぶをすると目線が高くなり、普段では届かない所に手が届きます。動くものに反応して手を出したり、狭いところや小さい穴に指を入れたりもします。

★ヒヤリハット!!

- ・おんぶしてエレベーターに乗ったらドアに指を挟んだ。
- ・チャイルドシートに乗せたが、パワーウィンドウを閉めるときに手を出しはさみそうになった。
- ・風でドアが閉まり、そこにこどもが手を出しはさみそうになった。
- ・包丁などが入っている扉を開けた。
- ・公園の砂場にガラスなど危険な物が落ちていてつかみそうになった。

対策ポイント

- ・エレベータやエスカレーターの近くでは遊ばせない。
- ・ドアの開閉時にはこどもが近くにいないか確認する。
- ・自動式の扉や、乗り物を利用する際は、こどもが手を伸ばさないようにこどもを奥に移動する。
- ・公園などで遊ぶ前に、遊具などに危険はないかよく見てから遊ぶ。

応急処置のポイント

- 【切り傷の場合】
- ・水道水で傷口の汚れをしっかりと洗う→清潔な布で圧迫止血→ばんそうこうや包帯で固定→傷口が広い、深い場合は病院へ
- 【挟んだ場合】
- ・傷の確認→冷やす→強く挟んだり、腫れてきた来た場合には病院へ



やけど

1歳前後のこどもの身長は70~80cm程度です。これはダイニングテーブル、コンロのグリルと同じくらいの高さです。手を伸ばしたり、テーブルクロスやコードを引っ張ったりして熱い飲み物をひっくり返したりすることがあります。

★ヒヤリハット!!

- ・揚げたての天ぷらを手づかみしていた。
- ・炊飯器の蒸気口に手を出していた。
- ・テーブルクロスを引っ張って、テーブルの上の熱い飲み物などを溶びてしまった。

対策ポイント

- ・テーブルクロスは使用しない。
- ・触てはいけないものは柵などで囲う。
- ・調理器具の使用後、温度が十分に下がるまで近くにこどもを寄せ付けない。

応急処置のポイント

まず、やけどをしたら、すぐに流水で冷やしましょう。20分間は冷やしてください。氷水はおすすめしません。服の上からやけどした場合→服のまま冷やしましょう。顔や頭、指の関節をやけどした場合→冷やした後にはやけどの範囲が小さくても医療機関を受診しましょう。



●受診した方がよいかわからないとき

静岡こども救急電話相談 #8000

夜間・休日等、こどもの急病やけが等で困りのとき、受診させるか迷われているとき、ご利用ください。専門家である看護師や小児科医が電話でアドバイスします。

相談時間
(年中無休)

毎日/24時間

相談
対象者

おおむね15歳までの
こどもの保護者

※明らかに重症の場合は、迷わず119番をおかけください。

毎月20日は「こども安全の日」です。犯罪の被害者となりやすいこどもの安全を確保するため、地域全体で見守りをしていきましょう。



地域の子育て情報や発達で気になることなど、子育てに関することなら何でもご相談ください。土曜日は児童館に常駐していますので、お気軽に声をかけてください。(お電話いただくと確実です。)

連絡先: 富士宮市立児童館内 子育てコンシェルジュ ☎0544-21-3715

水回り

大人のすることの真似をしたがる時期は要注意。届かないだろう、開けられないだろうと安心しないで。こどもの足首ほどの水位でも溺れてしまう可能性があります。トイレやバケツの水でも溺れます。

★ヒヤリハット!!

- ・知らぬ間に浴室に入り、浴槽を覗いていた。
- ・洗髪中、浴槽の浮き輪に座らせていたが、姿勢を崩して溺れそうになった。
- ・踏み台を持ってきて、水のたまった洗濯槽を覗いていた。
- ・気づいたら開けたままの便器をのぞき込んでいた。
- ・水を溜めたままのビニールプールに入って遊んでいた。

対策ポイント

- ・各部屋のドアは閉める。(ドアストッパー、ドアロック)
- ・プール、浴槽、洗濯機、バケツなどに水を溜めっぱなしにしない。
- ・椅子や踏み台は使用するときに出す。
- ・水遊び中はこどもから目を離さない。

応急処置のポイント

名前を呼んだり、軽く叩いて反応を見ましょう。
・反応がある・衣服の交換、水の拭き取りを行い保温。
水を吐かせる目的で軽く背中をたたく。
・嘔吐する・体を横にむけ、喉に吐物が詰まらないように。
・反応がない・すぐに救急車を呼び、胸骨圧迫を行う。
おぼれた場合には医療機関を受診したほうがよいでしょう